

市民相談・生活応援  
サービス一覧冊子で  
業務の効率化を！



末吉 利啓  
議員

**問** 市民相談や生活応援サービスに関する情報を一つの冊子にまとめて高齢者にも配慮したデザインにすることで、相談等の利便性が向上すると考えるがどうか。

**健康福祉部長** どこ

に相談したらよいか  
がわかるような冊子  
があれば、相談を受  
けた支援者はスムー  
ズに担当課につなぐ  
ことができ、業務の  
効率化が図られると  
考える。今後、市民  
生活課などの関係課  
と協議しながら検討  
していく。



▲市民相談のしおりなど

◆交通渋滞問題

**問** パーク・アンド・トレインライドの実施や交差点改良は、あしかがフラワーパーク周辺の渋滞緩和に大きな効果があった。新駅北側への連結通路を整備し、さらなる利便性を向上すべきと考えるがどうか。

**都市建設部長**

通路を設置するためには、将来的な駅前広場の規模や形状、県道桐生岩舟線との取りつけの方法などを整理し、関係機関と協議を行う必要があるため、引き続き調査、研究に努める。

足利市の行政運営に  
SDGsの導入を！



平塚 茂  
議員

**問** 各事業の推進に当たり、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）を積極的に取り入れてはどうか。

**市長**

政府が策定したSDGs実施指針における8つの優先課題には、第7次足利市総合計画等に掲げる施策と趣旨を同じくするものもある。本市の各種計画の着実な推進がSDGsの取り組みにつながると思われ、今後もSDGsの目指す、一人一人が持てる能力を発揮できる社会、誰一人取り残さない社会の実現を目指して取り組んでいく。

◆迫間自然観察公園の再整備

**問** 新駅の開業を契機に、施設が老朽化して公園機能が不十分な迫間自然観察公園を抜本的に再整備すべきではないか。

**市長**

同公園は地元自治会や公園愛護会等の協力を得て維持管理に努めているが、開設から15年が経過し、当初のような状況には機能回復できない状況である。新駅を中心とした東部地区の魅力を引き出すため、公園の今後のあり方や整備の方向性を検討していく。



歳出の効率化に向けた  
行財政改革の推進を！



大谷 弥生  
議員

**問** 平成28年度から地方交付税の算定に新たな方式が導入され、歳入の減少が懸念されるが、歳出の効率化に向けた今後の取り組み等について聞きたい。

**総合政策部長**

本市では、同方式の対象となる16業務のうち既に12業務において民間委託などによる歳出の効率化に取り組んでいる。残る4業務を含めた各種業務の効率化については、費用対効果を見極めた上で、第7次行政改革大綱実施計画の中で適切に対応していく。

◆学校における読書活動の推進

**問** 平成30年度から、司書の資格を持つ2名配置されたが、どのような活動を行っているのか。

**教育長**

同指導員は、学校図書館の環境整備を進めながら、子どもたちへ読み聞かせや本の紹介をしたり、各教科等の調べ学習において、教員と連携し図書準備を行っている。今後も同指導員の訪問を通じて、足を運びたくなるような図書館、心が和む図書館、我が家のような図書館になるよう努めていきたい。



▲学校図書館指導員の活動の様子